

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	開設時からの理念に外に開かれた生活を掲げ、地域密着を意識してきた。入職時に理念研修を行った後は、共用デイや緊急ショートを通して実践。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症サポーター養成講座やスキルアップ研修の講師を派遣、認知症の当事者として入居者も参加。地域防災会、地域の夏祭り等に入居者と出かける。日常の買い物も地域で行う。	認知症の人も地域とつながりを感じられることは大切だと思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	様々な立場の意見を聞くことができ、運営上の参考になっている。最近では、コロナ以降の対応等参考になっている。	それぞれ違う視点で色んな意見が聞けている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	併設するサービスも地域密着型であることから、新しい取り組み、困りごと等の連絡、相談、報告をする機会も多く協力関係が築けている。	頼りにされている事業所だと思う。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬による抑制も含めて身体拘束と不適切なケアについて十分理解している。介護の工夫や気づきを大切にしながら拘束につながるような考え方を排除している。過去の外部評価からEVや非常階段を自由に利用できる工夫を行った。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止について研修を行い、介護上の課題が不適切ケアにつながらないように気を配る。特に新人職員にはリーダーが指導し、見過ごされることがないように注意している。スタッフの心身の健康に配慮し、夜間はスタッフ増員しケアを行う。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議の構成員に、ご家族代表として司法書士の参加があり、助言を受けやすい環境にある。制度を利用する方もいる。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前、見学して頂き、十分な説明を行う。契約時は、自宅訪問や利用中のサービスに訪問し面談を行う。家族から生活歴、趣味、病歴等をアンケート形式で情報を得て、入居後のケアに活かす。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者が窓口になり電話や面会に来る家族の要望を聞く機会を持つ。要望を検討しながら柔軟な運営をしている。毎月のユピテル新聞で全体の事はお知らせしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	常勤スタッフは1人1台スマホを持ち、迅速に意見交換ができるようになっている。また、出・退勤時に必ず声かけを行い、意見や提案を聞くようにしており、活発な意見交換ができる環境にある。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	資格取得を含めたスタッフの努力、貢献度、能力、仕事の幅等を総合的に評価して給与水準を決定。年齢や子育て中でも働きやすいように短時間勤務を用意。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	多くの外部研修に参加。働きながら資格取得を希望するスタッフには勤務時間やその費用について協力。ベテランスタッフは全国大会で発表することを目標として自己研鑽しやりがいを感じるように努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日本認知症GH協会、兵庫県支部活動、近畿ブロック会、兵庫あんしんネット24、三田市内事業所連絡会に所属し、様々な研修会に参加。情報交換しながら質の向上に取り組む。困った時には助け合っている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフの制服は介護する側の印象を排除するために、ジャージを採用せず、様々なエプロンを着用。買い物、調理、掃除、洗濯等、生活に必要なことを一緒に行うことで暮らしを共にする者同士の関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	老人クラブ、ヨガ教室へ継続して参加している入居者もいる。高校の同窓会、冠婚葬祭に参加される場合もスタッフが付き添い支援している。	職員がいて認知症高齢者の扱いを理解されていることで支援も充実すると思います。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

Ⅱ. その人らしい暮らしを
続けるためのケアマネジ
メント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前アンケートからも把握に努めている。起床・就寝時間、食事時間、入浴回数や時間帯等も本人の生活リズムを優先している。それぞれの過ごし方に対応している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	初回は、細部にわたるアンケートを実施して家族の意見やアイデアを集めて活かしている。AIの実証実験でBPSD,QOL,ADLを入力しグラフ化することで理解しやすく介護計画が作成しやすい。担当者と事業所内の多職種が協力している。	AIの今後の活用に期待しています。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ. できている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手書きの介護記録も継続しているが、スマホのチームコミュニケーションツールの利用で情報共有の効率化を図り、24時間更新し計画書の見直しに役立っている。現在、AIの実証実験が終了しており今後はもっと活かせるとよい。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれにニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の方や支える家族が抱える問題は様々あり、それを解決できるように入居前からご本人や家族の相談に応じ、柔軟に取り組んでいる。	各家族の状況に応じて柔軟に対応されている。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者の力が発揮できるように、日常の買い物に出かける、認知症サポータースキルアップ研修、夏まつり、防災会、防災訓練などに一緒に参加する等を行っている。	予定通り行かなこともあると思うが柔軟に対応されていると思う。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られ係りつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時に説明をし、GH協力医療機関での訪問診療医を希望される方、入居前の医療機関で引き続き受診を希望される方のどちらにも対応をしている。終末期はGHの協力医療機関と連携することが多い。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時は、速やかにサマリーを届け、退院前カンファレンスにも参加。GHに看護師や理学療法士が在籍しており、早期退院が可能であることは病院側にも伝えている。点滴や喀痰吸引、骨折術後のリハビリもGH内で行うことができる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化・終末期については入居前に方針を説明し、重度化介護についての同意書を得ている。終末期に入ると訪問診療医と家族の話し機会を設定。終末期の延命医療の説明や同意書で意向確認を行う。家族が看取りを希望されれば、介護計画書を変更。介護や看護スタッフ、医師、家族で連携しながら支援に取り組む。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	GHの看護師及びベテラン介護スタッフが実践研修をすることで、初期対応を身につけている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎年2回以上の訓練を行う。昼間～夜間など想定を変更して行っている。夜勤者を1名多く配置し、いざという時に備えている。地域防災会に参加し顔の見える関係になり協力関係が円滑になるように努めている。	定期的に訓練をされている。フロアごとの課題を考えて行動している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

				ホーム内では備蓄品を整備している。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症ケアの中では特に大切なことであると理解している。フロアリーダー以上の責任者はプライバシーを損ねるような言葉使いや対応がないように毎日のケアに注意を払っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スタッフの都合ではなく入居者優先の支援を行うことを大切にしている。最低限のルールはあるが利用者の起床や入浴時間・回数は希望通り、携帯電話の持ち込みも自由に家族や友人と通信を行う入居者もいる。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食材の買い物からテーブル拭き、3食の調理、下膳、皿洗いまで入居者で行う。食形態も入居者の状態や好みに合わせている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事量や水分量が少ない場合は摂取できるタイミングを見計らって再度提供する等努力をする。完全側臥位法も取り入れどうすれば口から摂取できるのか検討を繰り返す。GHの管理栄養士にも相談することができる。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアを行っている。認知症があり、タイミングなど難しい場合は看護師や歯科衛生士からアドバイスを受けている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	おむつを使用しない対応を心掛け、入居者それぞれの排泄パターンで誘導を行う。今後はAI活用も見込まれる。異食行為のある利用者はオムツを使用することで危険が生じるので昼間布パンツ、夜はオムツにしている。利用者の羞恥心やプライバシー		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

				に配慮した誘導や声かけに取り組んでいる。			
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	朝から夜まで、時間に縛られず入浴支援を行うことが可能。入居者の気分やスタッフとの相性にも配慮。個浴で自分のペースで入浴ができるので音楽を流しながら入浴する方もいる。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	大まかな日課はあるが入居者の生活ペースを大切にしている。人の声でする方が良く、明るい方が良いという方にもベッドを移動して対応している。また、薬による睡眠障害も理解しており、夜間帯の観察を行いながら、かかりつけ薬局と連携しながら対応をしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬については、訪問診療医やかかりつけ薬局と細やかに連携。月2回の情報交換会で薬に対する知識を深めている。入居者の様子を観察することの大切さを知り、毎日の観察を欠かさず、しっかりと情報提供している。それにより、減薬することも多く、その効果を実感している。特に、27名の入居者それぞれの排便の調整を個別に行い、気持ちよく排泄できるよう努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	希望に応じて入居者宅まで、馴染の文房具、パズルの本などを取りに行くこともある。他者のお世話をすることが好きな入居者にはスタッフと同じように動いてもらっている。	本人の好きなことやきること、長所を活かす工夫をされていると思う。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日、希望に沿って外出の機会があり、自宅や以前利用していたデイサービスや飲食店に寄ることもある。	積極的に外出の機会を作ってくれる事業所だと思う。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お金を使用して社会とのつながりが持てるように買い物に出かける。好きな雑誌やお菓子などを購入される方もいる。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	希望により手紙や電話のやり取りの支援をする。持ち込んだ携帯電話の充電が切れないように配慮する。家族や親せきからプレゼントが届いたらお礼の電話を入れるように促し、支援を行う。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	廊下で休憩ができるように椅子を設置している。椅子や机もその方の能力に合わせた物を提供する。生活感を感じることができるように標示は最小限にしている。季節感が出るように、レクリエーションを活用している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	思い、願いを聞ける環境を作りやそれを保つ努力をしている。帰りたい、●●が食べたい、一人になる時間が欲しい等、聞いたり観察をして対応している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前アンケートで詳細な記入をお願いし、友人関係、過ごしてきた場所、職業、家族からみた性格等を聞き取り、認知症になる前からのその人らしさも大切にケアを行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	多職種(専門家)、家族、ご友人、元ご近所の方等と協力し、健康面・医療面、安全面・環境面のサポートを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
43		生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共同生活の中で、他者に無理に合わせてもらうことはせず、個々の入居前の生活をできるだけ継続できるように配慮している。		

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今まで使用していた物を持ち込むように家族に伝えている。寝具、筆筒、仏壇や人形、思い出の品、携帯電話など様々な物を持ち込んでもらっている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自分の意向で買い物や同窓会、冠婚葬祭、習い事にも参加している。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	調理についても、できること、もうできないことをスタッフ間で共有し、一連の手順の中で自尊心を傷つけることがないように配慮。できない部分はさりげなく支援する。包丁の切り方で難しいところはスタッフが補助する。レシピも理解できるように書き直す。また、買い物も店の入口から出口迄、陳列してある順番で、買い物リストを作成し、失敗しないように支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	GH内で自分の役割を見つけやりがいを感じてもらえるように努めている。毎朝、新聞紙をちぎって水で濡らし、埃を舞わせないように床掃除をする方、毎日買い物に行き荷物を持って下さる方、食材やおやつを各階に配布してくれる方等、様々な活動をしながら生き生き生活されている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域との関りが持てるように支援している。全体としては認知症サポーター養成講座の参加は、とても良かったようだ。自立度の高い入居者は、災害時の合同訓練で市民の方と一緒に消火の為のバケツリレーにも参加した。	イベントにより入居者1人1人の個性が感じられます。よく観察されている。よく観察されている。		
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	GHでは認知症の症状によって、様々な介護の工夫をし、安心して安楽な生活ができるように努めている。家では落ち着かなかつた方もGHの生活で落ち着き、穏やかな生活ができ	外部研修にもよく参加されている。症状に応じた対応を協議されている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

				るようになっている。安心して安楽が得られている。			
--	--	--	--	--------------------------	--	--	--